NIE実践報告

1．タイトル：**現代社会を見つめよう**

2．学校名

彦根市立東中学校

3．実践者名（代表者名）

門野智哉

4．学年

第３学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会（公民） 選択　２７０人

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞切り抜き作品をつくろう」

7．目標(狙い)

情報満載の新聞から、興味や関心のある記事を楽しみながら選び出すことによって新聞に親しみ、社会に対する関心を深め、情報収集能力・読解力・語彙力を身につける。

8．評価の視点

記事の内容を的確に捉えて、まとめることができたか。
記事を深く読んで、自分のものとして捉え、感想や意見をもつことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「現代社会をみつめよう」（後期選択社会：８時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教材「新聞のしくみ」を通して、新聞を知り、新聞に親しむ。（１時間）
②学習のねらいと取り組みの方法を知り、グループ別にテーマを設定する。（１時間）
③新聞からテーマに関係した記事や写真などを集め、新聞切り抜き作品をつくる。（５時間）
④完成した作品を展示、紹介（発表）し、各グループの作品の感想をもつ。（１時間）

（留意点）
- **新聞切り抜き作品の例を提示して、学習全体イメージをつかませる。**
- **テーマは、身近な出来事やテレビなどの話題から、疑問に感じていることや気になることを選んでもよいことを助言する。**
- **各グループの作品の感想を述べることによって「話す力」を、メモなどをとりながら注意深く聞くことによって「聞く力」を身につけることができるよう配慮する。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

こちらの予想以上に新聞に親しみ、楽しんで新聞を読んでいた生徒が多かった。また、テーマの設定についても、最近の時事問題から女性や高齢者を取り上げたものや、めでたい記事や食生活など様々なテーマが設定され、作品の発表では活発な意見交流が行われた。

12．成果と課題

新聞といういわば実物教材を活用することで、生徒の興味関心が高まり、生徒が自主的・主体的に学習を進めることができ、おおむね学習のねらいを達成できたように思う。また、この取り組みで生徒たちの読解力や社会に対する考えや思いを知り、生徒観を新たにすることができ、今後の指導に生かすことができそうである。

課題としては、グループ単位での活動としたために、個人としての意見や考え、活動の場面を制限してしまった可能性があることと、学習活動に必要な時間の確保が難しかったことが挙げられる。